

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などレジャー施設が数多く集まっている。京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城址、武家屋敷、順天堂記念館、平成１２年１１月一般公開された旧堀田邸など、歴史と文化の環境に恵まれている。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、市立図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており商店街も形成している。

公民館は、この台地の南側の低地に（財）印旛都市文化財センター、佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停からも５分以上かかり、徒歩での来館者には多少不便である。佐倉地区の人口は平成１９年３月末日で、３０，３９１人で昨年に比べ４人の増となっているが、ここ１０年位はほぼ、横ばいの状況である。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

利用者に対して、快い対応をするように努める。

より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。

各種の事業内容の充実に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

(1) 施設の提供(団体、グループ単位)

利用時間 午前9時から午後9時30分まで。

ただし、月曜日と祝日は、午後5時00分まで。

休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始(12月28日～1月4日)。

(2) 備品の提供(団体、グループ単位)

館外貸与できるもの

机、椅子、拡声装置、キャンプ用具

2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実をはかるため、学級講座の質的向上につとめる。

幼児家庭教育学級、少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

3. 講演会事業

継続的に学習することができない人のために、学習機会の提供をはかる。

4. 団体育成

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援並びに懇親をはかる。子ども会活動への支援、高齢者ボランティアグループの支援をおこなう。

5 . 文化援助事業

行政機関、文化団体の教育文化行事への協力体制を確立する。
文化団体発表会、文化祭、美術展、音楽鑑賞会、映画観賞会への援助。

6 . 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。
中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示、及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

7 . 展示事業

ロビー、展示ホールの効果的活用を図る。
利用者作品展、各種展示会の開催。

8 . 図 書

図書館と連携の上、学習資料を収集し、活用する。
カレッジ図書コーナーの設置、家庭教育関係の資料の整備。

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用件数	6,275	5,963	6,250	6,368	6,588
利用人数	150,408	115,481	118,356	116,316	120,713
開館日数	332	334	333	333	333

事業の部

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	2歳児親子あそび教室	2歳児と親 21組	5月～9月 11回	遊びをとおして、幼児の自主性と豊かな心を育てあげることのできる親の態度を養った。
	2歳児家族で遊ぼう	2歳児と家族 40人	5月 1回	親と子の運動を通し、子どもの運動能力を高めるとともに家庭内における家族の役割を学習した。
	子育てプレイルーム	子育て中の親と子	毎月2回 第1・第3金曜日	乳幼児を持つ親の仲間づくりの場。情報交換の場として自由に利用できる空間として開設した。
	親子体操教室	2・3歳児と親 19組	1月～2月 4回	親と子が触れ合いを大切にしながら、子どもの様々な発達を伸ばしていくための講座を実施した
	子育てホットクラブ	1歳児と親 16組	10月～11月 3回	幼児期を持つ親の仲間づくりの場。情報交換の場として自由に利用できる空間として開設。
青少年教育	ジュニアカヌースクール	小学生3～6年生 中学生2年生 10名	6月～10月 9回	印旛沼を利用したカヌープログラムを通して親子で自然に触れ合う機会を提供した。
	佐倉工芸くらぶ	小学生 10名	11月 3回	ペットボトルや空き缶といったリサイクル品を利用しておもちゃを作ることによって、リサイクル品の有効利用を通して、資源の大切さについて考える機会を提供する
	通学合宿	小学生4・5・6年生 21人	7月・10月 3泊4日	異なった年齢集団の中で様々な体験をすることにより、社会人として良い習慣を身に付けるとともに一般（地域）との交流を図った。
	チャレンジクッキング	小学生4・5・6年生 24名	6月～8月 土曜日 4回	子どもたちに食の大切さを知ってもらおうと同時に自分で食事を作ることの喜びを知ってもらおう。また、食から郷土の文化に触れてもらうことで、郷土を愛する心を育てる。
	始めよう天体観測	小学生と親	夏休み 1回 冬 1回	星空観測を通して宇宙の広大さ、不思議さを感じることににより、あらゆるものについて好奇心・探究心を抱いてもらう。

成人教育	パソコン広場	パソコン初心者の成人 各回10名	4月～3月 毎週月～金曜日	パソコンに実際に触れ、操作することによって、パソコンとはどのようなものであるかを体験してもらった。
	パソコンイベント	パソコン初心者の成人 延べ66名	10月 1回	初心者を対象に、パソコンに興味を持ってもらい、情報格差を埋めるためのイベントを実施した。
	健康講座 ウォーキングを楽しもう	成人 30名	10月 1回	ウォーキングの基礎的知識の習得と軽スポーツを楽しんだ。

	佐倉学総合講座 ～幕末の佐倉探訪～	成人 44名	3月 2回	「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方を対象に、佐倉地区の史跡散策と学習を行った。
	佐倉学総合講座 コンニャク芋で 「手作りコンニャク」 づくり	成人 16名	11月 1回	佐倉の食文化の一旦を担って見聞された「佐倉コンニャク」をテーマとし、自家製のこんにゃく芋を使ってコンニャクづくりに挑戦した。
	初めての料理講座	成人 10名	8月 1回	自ら食について考える習慣や、正しい食の知識と正しい食を選択する判断力を、調理実習をしながら楽しく身につける。
高齢者教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢社会のなかで、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え実践をととした生涯学習の場とした。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学び。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等の学習を行った。特に1年生は、学ぶ意義から入り、仲間づくりに重点を置いた。2年生は、まちづくりを重点に考え、実践した。 「専攻課程」では、「であい課程」を終了後、更に学びたい人のため専門別に学習をした。卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れた。
		1組 50名 2組 50名	5月～2月 36回	
		第2学年		
		1組 50名 2組 47名	5月～2月 36回	
		第3学年		
		福祉コース 16名 歴史コース 26名 情報コース 20名 元気コース 26名	5月～2月 20回	
		第4学年		
		福祉コース 27名 歴史コース 16名 情報コース 19名 元気コース 29名	5月～2月 21回	
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 8団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。市子連研修会に参加した。
	グループ懇談会	利用団体代表者 約180団体	4月	利用者団体との意見交換をし交流を図り、公民館活動及び利用のあり方について懇談をした。
広報活動	公民館だより	佐倉市民	1回 1,500部	公民館の事業紹介や募集、地域の情報を提供した。
	「なかま」	佐倉市民	毎月1回 各1,000部	市内高齢者から広く原稿を募集し、意見交換と情報提供を行った。
	高齢者文集 「あゆみ」	高齢者	年1回 250部	「子や孫に伝える思い」「旅の思い出」というテーマに基づいて市内高齢者から原稿を募り、文集とし、文集を通して高齢者の意見交換を行い生き方を学んだ。

1 . 家庭教育事業

2 歳児親子あそび教室

開設趣旨 幼児にとって遊びは、生活上なくてはならない重要な学習であり、遊びを工夫し豊かにすることは、幼児の心と身体の成長に大切なことである。本講座は、子どもの心の成長と豊かな感受性の育成を担う、親と子のための学習講座として開設する。

対 象 2 歳児とその親 2 1 組

開設期間 平成 1 8 年 5 月 1 8 日 ~ 平成 1 8 年 9 月 2 1 日 午前 1 0 時 ~ 1 1 時 3 0 分

学習目標 身体で手本を示す親になりましょう。

学んだことを生活の中で活かす努力をしましょう。

子供の豊かな創造性を大切に、友達づくりや他の母親との交流に努力しましょう。

学習プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	講 師
1	5月18日(木)	お友達になろう	自己紹介・リズム遊び エプロンシアター	川口はぎ江
2	5月28日(日)	家族であそぼう	草花遊び・伝承遊び ダンボールで遊ぼう	川口はぎ江
3	6月 8日(木)	読み聞かせの楽しさ	読み聞かせ 手遊び	佐倉図書館 中山 賜 栄
4	6月15日(木)	粘土あそび	小麦粉をこねこねして粘土 づくり	川口はぎ江
5	6月22日(木)	楽しい遠足	大型バスに乗って	川口はぎ江
6	6月29日(木)	星に願いを	七夕飾り制作	川口はぎ江
7	7月 6日(木)	読み聞かせの楽しさ	読み聞かせ 手遊び	佐倉図書館 中山 賜 栄
8	9月 7日(木)	絵の具で遊ぼう	手形押し・指絵遊び	川口はぎ江
9	9月14日(木)	運動会	色々な道具を使って運動会	川口はぎ江
10	9月20日(木)	グループ発表会 閉講式	グループで楽しい遊び発表	川口はぎ江

学習を終えて

今年度も通年で1コース、全10回の親子教室を21組の親子で実施しました。

最初は多くの人に戸惑っていた子ども、講座の回数が進むとともに雰囲気慣れ、遊びへの参加も積極的になって、その中で友達との関わりかた、やってはいけないことなど、遊びをとおして親子で学ぶことができました。

おかあさんは10回の講座で子育てについて考え、子育てを学ぶことができ、また同年代の子どもを持つ親が集うことでともだちづくりや他の親子との交流も深めることができました。

この講座をきっかけに、今後は地域の人ともふれあいながら子育ての時間を大切に過ごしてほしいと願いながら講座を修了しました。

2歳児家族で遊ぼう

開設趣旨 家族で遊ぶことを通して、子供の心と運動能力の成長と、子供の成長にとって家族で遊ぶということがどれほど大切な役割であるかを理解する、家族のための学習講座として開設した。

対 象 2歳児親子遊び教室参加者とその家族 40人

開設日時 5月28日(日) 午前10時～11時30分

内 容

月 日	学 習 テ ー マ	内 容	講 師
5月28日	家族で遊ぼう	ハトぼっぼ体操 厚生園までお散歩 外遊び(かくれんぼ・ダンボールのキャトラとリ等)	幼児教育研究家 川 口 はぎ江

学習を終えて

「2歳児親子遊び教室」の講座生とその家族を対象に開催。平日参加できないお父さんにも参加してもらおうと日曜日に開催にしました。

公民館で体操をしたあと、厚生園までの道のりを道端に咲いている花や草をみたり、虫を捕まえたり、移動にも遊びを取り入れながらお散歩を楽しみました。また、厚生園では芝生の上でダンボールを使った滑り台やリで遊んだり、かくれんぼをしたりして、家族で遊ぶ楽しさを満喫しました。この講座をきっかけに身近なところでも家族みんなで遊ぶだけで、子供はとても楽しいということ、普段なにげなく歩いている道にも色々な発見があるということをお父さん、お母さんに感じてもらえたのではないかと思います。

親子体操教室

開設趣旨 体操をとおして、親と子が触れ合いを大切にしながら、子どもの様々な発達を伸ばしていく。

対 象 2・3歳児とその親 19組

開設期間 平成19年1月16日～平成19年2月13日

午前10時～11時30分

学習目標 身体で手本を示す親になりましょう。

学んだことを生活の中で活かす努力をしましょう。

子どもの豊かな創造性を大切に、友だちづくりや他の親子との交流に努力しましょう。

学習プログラム

	月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1	1月6日	開講式、リズム遊び	自己紹介・リズム遊び	小 瀧 綾
2	1月23日	タオル体操	タオルを使って飛んだり、投げたりして遊ぶ	
3	1月30日	新聞紙遊び	新聞紙でボールを作ったり、破った新聞で雪遊び	
4	2月13日	器具遊び	マット、平均台、跳び箱を使って遊ぶ	

学習を終えて

19組の応募があった。この親子体操教室は基本的に親と子がペアとなってからだを動かしたり体操をするので、お母さんは少し大変そうであった。最近では小学生の運動能力の低下が深刻であるようで、幼児期の頃からからだを動かす楽しみを感じさせることが大切である。

1 歳児親子教室「子育てホットクラブ」

開設趣旨 核家族化・少子化の中で、子育てに不安を持つ親の不安解消の糸口となり、仲間づくりをしながら「家庭のあり方・親の役割」を学び、家庭教育力の向上を図る。

対 象 一歳児とその親 16組
(平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ)

開設期間 平成18年10月31日(火)・11月9日(木)・16日(木)
午前10時から11時00分 全3回

回	日 時	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	講 師	会 場
1	10.31 (火)	親子で体操しよう	いろいろな道具をつかったのしく体操をします	NPOさくら 子どもSPOネット 小滝 綾	中央公民館
2	11.9 (木)	親子で遊ぼう	親子で触れ合い遊び	佐倉保育園	
3	11.16 (木)	絵本を楽しもう	絵本の読み聞かせ わらべうたあそび	佐倉図書館 司 書 中山賜栄	中央公民館

講座を終えて

今回で3度目の開催となりました。応募者は年々増えており今年度は当初15組の応募でしたが応募多数であったため20組まで定員を拡大しての実施となりました。1回目はフープやマットを使ってコーディネーション運動を行い親子で思い切りからだを動かしてあそびました。2回目は佐倉保育園のホールで保育園の子供たちといっしょにダンスをしたり体操をしたあと、お母さんのからだを遊具に見立てた遊びを先生から教えてもらいながら一緒に遊び、最後に小麦粉粘土をつくって持って帰りました。最終回は絵本の読み聞かせとわらべうたあそびを和室で行ないました。

少し工夫をするだけで親子で楽しい時間を過ごせるということを学びながら、子どもと過ごす集団でのルールも学ぶことができました。この体験をこれからの子育てにも生かして楽しく子育てをしてもらいたいと願い講座を終了しました。

2. 少年教育事業

ジュニアカヌースクール

開設趣旨 カヌーを体験することにより、地元の印旛沼に親しむとともに、年齢の異なる仲間との団体活動をとおして社会性・自発性の涵養を図る。

対 象 小学生3年生～6年生・中学生 10人

開催期間 平成18年6月26日(土)から10月16日(土) 隔週土曜日 全9回
午前10時から午後1時まで

指 導 者 佐倉市カヌー協会

学習プログラム

回	日 時	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者
1	6月24日(土)	開講式・実習	講義と会場見学・実技	佐倉市カヌー協会
2	7月1日(土)	実習	基本技術の習得	〃
3	15日(土)	〃	〃	〃
4	8月5日(土)	〃	〃	〃
5	19日(土)	〃	〃	〃
6	9月2日(土)	〃	〃	〃
7	9日(土)	〃	〃	〃
8	10月7日(土)	〃	〃	〃
9	14日(土)	〃	〃	〃

講座を終えて

以前は、夏休み期間中の4日連続開催を行なったが、参加者が少なく、夏休み前の土曜日開催に変更してから4年目。基本的な技能の習得を中心としたスクールを実施したが、過去のスクール生が指導を補助し参加者にマン・ツー・マンのように教室をサポートしてくれた成果として、早くカヌーを親しめるようになり、ボールを使ったり、レースをしたり、より高度な技能を身につけることができた。

練習場所はカヌー協会が普段の練習場所としている印旛沼中央水路であり、子どもたちはカヌーの体験を通してふるさと佐倉の自然に親しんでいる。

カヌー協会の役員による心暖まるカレーライスの昼食会が催され、参加者同士の親睦が図られた。今後はキャンプ食を取り入れたり、デイキャンプとカヌー、サイクリングとカヌー等、複合した事業も郷土の自然環境を活かした青少年の育成に有益な事業展開が計画できるものと考えられる。

佐倉工芸くらぶ

～リサイクル品を使っておもちゃを作ろう～

開設趣旨 ペットボトルや空き缶といったリサイクル品を利用しておもちゃを作ることによって、自らが作りたいものを創作し作り上げるといった自主性を育むと同時に、リサイクル品の有効利用を通して、資源の大切さについて考える機会を提供することを目的としています。

対 象 小学生～ 親子参加

開催期間 平成18年11月11日・18日・25日(土)全3回
9時30分から12時まで

指 導 者 椿 八郎 氏(地域人材) 公民館職員

学習プログラム

月 日	テーマ	学習内容	参加者	講 師
11月11日(土)	車づくり	牛乳パック、ペットボトル、竹庇護、紐を利用して、車を作成する	10名	椿 八郎
11月18日(土)	飛行機づくり	牛乳パック、輪ゴムを利用して飛行機を作成する	10名	椿 八郎
11月25日(土)	ロケットづくり	牛乳パック、ペットボトル、輪ゴムを利用してロケットを作成し、成果品を実際に飛ばして遊んでみる	10名	椿 八郎

講座を終えて

平成14年度、学校完全5日制、総合学習の実施にともない、学校休業日の対応、余暇時間の家庭教育の啓発等、公民館としても地域の教育課題として新たな取り組みが求められている。そのような課題解決の試行として「佐倉工芸くらぶ」と銘打って新規事業に着手した。

リサイクル品の有効利用を通して、資源の大切さについて考える機会を提供することを目的としているため、参加者に使用済みの紙パックやペットボトルなどを持ち寄ってもらうこととしたが、おもちゃを作成するにあたって、物の大きさや形などが限定されてしまうため、来年度以降はいろんな形に対応したおもちゃづくりの思考が必要である。

全体的に計画当初の募集定員には満たなかったため、開催時期やPR、内容の工夫が必要と思われる。

地域指導者の確保、協力の充実を段階的にすすめ、より多くの事業展開を図れるようにするため、来年度以降は、事業内容について全面的に見直しを実施する予定。

通学合宿

開設趣旨 子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。また、両親には、子ども離れることで日頃の親子関係を考える機会を提供する。そして、スタッフに地域の人材を入れることで、地域で子どもを育てる意識を啓発する。

対 象 佐倉小児童 24名 佐倉東小児童 21名

開催期間 佐倉小 平成18年 7月 9日(日)～12日(水)

佐倉東小 平成18年10月29日(日)～11月1日(水)

指 導 者 地域人材 佐倉市民カレッジ生 生涯学習課職員 公民館職員
学習プログラム

回	月 日	学 習 内 容	会 場
1	7月 9日(日) ～12日(水)	・開校式 ・献立決め・買物・朝食・夕食(調理、後片付け)・洗濯 ・入浴(もらい湯)・清掃	中央公民館
2	10月29日(日) ～11月 1日(水)	・閉校式	佐倉高校 セミナーハウス

講座を終えて

佐倉小学校の通学合宿は、中央公民館の裏側の水路でのザリガニ釣りでは、カレッジ生が子どもたちにザリガニの釣り方を教えながら昔話を聞かせるなど、世代間の交流が図られた。自由時間のほとんどをザリガニ釣りで過ごしていたようだ。かんたんな釣竿を自分たちで作るなど貴重な自然体験ができたようである。

佐倉東小学校の通学合宿では、過去に通学合宿に参加した佐倉東中学校の生徒に協力ボランティアとして参加いただいた。今回参加児童の6年生の中には、「中学生になったらお手伝いとして参加したい」とアンケートにもあり、次年度も中学生ボランティアを活用していきたいと考えている。

チャレンジクッキング

開設趣旨 普段なにげなく口にしている食事。しかし人にとって食は大切な生活の営み。子供たちに食の大切さを知ってもらうと同時に、自分で食事をつくることの喜びを知ってもらう。また、食から郷土の文化にもふれてもらうことで、郷土を愛する心を育てる。

対象・人数 小学校4・5・6年生 24人

開設期間 平成18年6月24日(土)・7月22日(土)・28日(金)
8月7日(月)

時間・回数 午前9時から12時30分 全4回

学習目標 1.自分で作ったものを食べる喜びを知る
2.学んだことを生活の中で活かす努力をする。
3.郷土の料理にふれ、自分たちのまちを愛する気持ちを育てる。

プログラム

回	日 時	学 習 内 容	講 師	会 場
1	6月24日	夏の一番人気デザート・ゼリー(4種類)	西志津中学校 栄養士 小林由喜子	中央公民館 調理室
2	7月22日	クレープ オレンジケーキ	〃	中央公民館 調理室
3	7月28日	パンづくりに挑戦	〃	中央公民館 調理室
4	8月7日	郷土料理・太巻き寿司	〃	中央公民館 調理室

講座を終えて

今年度も佐倉地区の小学4・5・6年生を対象に食の大切さを知ってもらう講座として実施しました。初年度は7名しか参加がなかったこの講座も、年々応募者が増えており、地域に定着した講座になってきたのではと感じます。講座の内容は子どもが楽しく料理作りを体験してもらえるようなメニューに取り組んでもらいました。一回目のゼリーはそれぞれの班が1種類を作って各班で分け合いました。クレープは箸を上手に使ってうすい生地をつくるのが出来、参加者の一人の子は「今度お母さんのお誕生日に作ってあげたい」話してくれました。パンはビニール袋ひとつでつくれる簡単パンづくり。色々な形を作って楽しんでいました。最終回の太巻き寿司は切った時の絵柄に大感動。家族に自分で作ったお寿司を食べてもらいたいと持ち帰って行きました。この講座の参加して自分で作ったものを食べるという喜びを体験することが出来、同時に食事のマナーや料理をする際のルールも学ぶことが出来たのではないかと思います。これをきっかけにしてこれからも料理に挑戦してもらい、自分で作ったものをおいしく食べて元気に過ごしてもらいたいと思いながら講座を終了しました。

始めようか天体観測

開設趣旨 星空観察を通して宇宙の広大さ、不思議さを感じるにより、あらゆるものについて好奇心・探究心を抱いてもらう。また環境、光害について考える。

対 象 佐倉市内の小学生とその親

学習プログラム

回	日 時 及 び 場 所	学 習 内 容	指 導 者
1	平成18年8月19日(土) 14:00~15:00 19:30~20:30 中央公民館学習室 野鳥の森付近	・夏の星座について資料をもとに説明し、 夏の星座をさがす	公民館職員
2	平成19年3月18日(日) 14:00~15:00 19:30~20:30 中央公民館学習室 野鳥の森付近	・冬の星座について資料をもとに説明し、 冬の星座をさがす	宮野雅樹

講座を終えて

16年度からはじめた事業である。9名の参加があった。講義編では代表的な星座を中心に、その星座の神話や探し方を解説した。実技編では肉眼で星や星座を観測した。佐倉地区は夜でもまだ明るく星空を観測するには厳しい環境ではあるが、親が子に星座の探し方を教え、親子での交流が自然に図られていたことは良かった。昼間行った講義編の内容は小学生低学年にも親しみやすいように簡単な内容にした。

3 . 成人教育事業

健康講座 ～自然散策・森林と巨木を訪ねて～

開設趣旨 健康ブームといわれる今、佐倉の森林と巨木を訪ね歩きながら、郷土を学び、自然を体感し、一番身近な運動であるウォーキングをしながら、幅広い年齢層がウォーキングを通じて交流を持つことを目的としています。

対 象 市内在住一般成人 30名

- 学習目標 1 佐倉市内の森林を巡り、その知識を学ぶことによって、自然環境について考える機会を提供し、郷土愛を育む。
- 2 ウォーキングをとおして、健康づくりへの意欲を養い、健康について考える。

開催期間 平成18年10月21日(土)

午前9時～午後12時まで

学習プログラム

	日 時	学 習 内 容	指 導 者	場 所
1	10月21日(土) 9:00～12:00	散策 志津地区 鷲神社 西福寺 四社神社 千手院(境内樹木)	森林と巨木を 訪ねる会	中央公民館

講座を終えて

今年度で4回目の健康講座を開催した。

昨年度までの健康講座では、「歩くことの意義」という健康増進の視点から「ウォーキング講座」として、ウォーキングの前に準備体操や、ストレッチを学び、実際に城址公園内をウォーキングしながら体を動かすことの喜びや自然を体感しながら健康について学んできた。

ウォーキング講座が3回目ということもあってか、前年度より参加者が減少してしまったため、その反省点を活かし、今年度は「佐倉市内の森林と巨木を巡る」といった自然散策を重点に、ウォーキングをしながら、健康づくりについて考えることに加え、佐倉市内の豊かな自然に触れ合うことで、郷土愛を育み、環境について考える機会を提供することができた。

参加者からの感想は、とても素晴らしい講義で翌年もぜひ実施して欲しいという声が多く、また、志津地区だけでなく、佐倉市内の各地区で実施して欲しいという声が多くあがった。

佐倉学総合講座 ～幕末の佐倉探訪～

開設趣旨 「佐倉の歴史に興味があるけれども、きっかけがない」「これから佐倉の歴史を学んでみよう」というかたを対象に、佐倉地区を歩きながら、幕末から明治のはじめにかけての佐倉を講義及び散策をしながら学習する。

対象・人数 一般成人 44名

期間・回数 平成19年3月3日～平成19年3月10日 全2回(土曜日)

学習目標

1. なぜ歴史のまち佐倉といわれているのか、その一つである幕末佐倉藩を知ることから学び始める。
2. 郷土愛を育み、ふるさと佐倉創生への意欲を養う。

学習プログラム

回数	月日(曜日) 時間	テ - マ	学習内容	講 師
1	3月3日(土) 9:30 ~ 12:30	幕末の佐倉藩について	講義 堀田正睦とその時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 塚本 学
2	3月10日(土) 9:30 ~ 15:30	史跡散策 - 佐倉地区 -	旧堀田邸・武家屋敷 順天堂記念館・ほか	市民カレッジ卒業生 (歴博セミナーの会)

事業を終えて

本事業は生涯学習課・公民館・図書館共催の合同講座「佐倉学総合講座」の中の1講座としての開講。

本年度より、初日が講義、2日目が散策という、歩く前にある程度の知識を得てから、史跡散策を行うという講座に変更した。

講義については、国立歴史民俗博物館名誉教授 塚本 学 先生にお願いし、幕末時代の佐倉について、堀田正睦を中心に2時間程度の講義をいただいた。

散策については、前年同様、カレッジ卒業生からなる歴博セミナーの会に企画段階から参画していただき、コースは昨年と同じに設定、これから佐倉の歴史を学んでみようというかたを対象として、あえて幕末から明治のはじめの佐倉が輝いた時代に限定し、その時代の人物に焦点をあてた歴史探訪とした。

各館で実施している「佐倉学総合講座」に参加している方が非常に多く、単発で実施した昨年と異なり参加者が20名以上増加した。参加者の熱心な様子からは、歴史上の人物を数多く輩出している佐倉の歴史への関心の高さが伺えた。今後、さらに佐倉の歴史学習を続けて、ふるさと佐倉の創生に対する積極的な活動につながっていくことを期待したい。

佐倉学総合講座【番外編】

コンニャク芋で「手作りコンニャク」づくり

開設趣旨等 今回の講座は、江戸時代の書物(江戸時代に描かれた地誌・地理書等)から佐倉を学ぶと題して、市内の社会教育関係施設等が協力して実施する「佐倉学総合講座」の番外編で、体験を通してより郷土への愛着を深めることを目的として実施します。

内 容 江戸時代、佐倉の名産品として「利根川図志(1858年)」や「遊歴雑記(1814年)」に紹介されていた佐倉名物の「佐倉コンニャク」。「遊歴雑記」には、コンニャクの他に「やたら漬」・「佐倉炭」の名前も上げられています。何時の頃からか名前を聞かれなくなった佐倉の名産品。今回の講座では、これらの名産品の中から、佐倉の食文化の一旦を担って見聞された「佐倉コンニャク」をテーマとし、自家製のこんにゃく芋を使って「手作りコンニャク」を作っている農家の方を講師に向かえコンニャクづくりに挑戦します。

対 象 市内在住一般成人 16名

開催期間 平成18年11月11日(土) 午前9時30分～15時00分

講座を終えて

昨年に引き続き2回目の開催となりました。今年度も佐倉学総合講座の番外編として、コンニャクづくりに挑戦しました。

パソコン広場

開設主旨 パソコン初心者程度のかたが自由にパソコンに触れることができるように、パソコン広場として場所とパソコン機器を提供する。さらに、市民カレッジ卒業生からなるパソコンスタッフがパソコン広場の企画・運営にあたる。

対 象 一般成人

開設日時 自由利用………毎週月～金曜日(休館・保守点検日を除く)の午前10時～午後4時に自由に利用できる

スタッフ指導………隔週の火曜日と木曜日と金曜日はパソコンスタッフが指導にあたる
パソコンイベント………パソコンスタッフが企画し、春と秋に開催する

パソコン広場利用人数

内 容	日 時	利用人数(延べ)	パソコンスタッフ
自由利用	毎週火曜日から木曜日 午前10時～午後4時	721人	
スタッフ指導	隔週の火曜日と木曜日と金曜日	(自由利用者と重複) 450人	市民カレッジ卒業生 9期・10期・11期 各10人
パソコンイベント	H18.10/29 午前9時40分～午後2時40分	66人	市民カレッジ卒業生 9期・10期・11期 29人
合 計		787人	

「初めての料理」講座

開設趣旨	自ら食について考える習慣や、正しい食の知識と正しい食を選択する判断力を、調理実習をしながら楽しく身につける。
学習目標	・調理実習を通して健全な食生活について学ぶ ・料理の基本とコツを学び自分でつくる喜びを知る
講師	西志津中学校 栄養士 小林由喜子
対象・人数	市内在住・在勤の方 10名
期間・回数	平成18年8月 7日(月) 18:00~21:00
場所	中央公民館 調理室
学習内容	調理実習 メニュー 鶏の照り焼き・肉じゃが・混ぜご飯

講座を終えて

この講座は「料理をするのは初めて!」という人を対象に、日ごろ公民館に来られない若い世代の方たちにも仕事帰りでも参加しやすいようにと夜間(6時から)に設定しました。内容は学校教育では既に取り組みが始まっている「食育」について学ぶ講座として、個々の食生活を見直し、健康な食生活の大切さを考えるきっかけとなるよう調理実習をとおして行われました。調理実習は4班に分かれて行い、どの班も多少ぎこちない作業ではありましたが時間どおりにおいしいそうな晩ごはんが出来上がりました。参加者からは、はじめて取り組んだ料理のおいしさと達成感で「家で作ってみます」「やってみると料理は意外と簡単」などの声が聞こえてきました。また、「母親に参加を勧められて参加した」という女子高生も今回の参加で料理に興味をいだいてくれた様子でした。

4 . 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1 . 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。

短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。

また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20名を含む第1学年100名、短大の卒業生が編入した第3学年96名の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2 . 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下カレッジ)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3 . 入学対象・定員

(1) 入学対象者

佐倉市に在住する市民で、健康で継続して学習できる人
積極的に自主学習ができる人
卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：100名(年齢別募集)

各学年の年齢構成は以下のとおり
60歳以上 80名
40歳から59歳まで 20名

なお、平成18年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募 集 定 員	応 募 数	入 学 者 数
第1学年	60歳以上 80名	193名	84名
	40歳から59歳まで 20名	16名	16名
	計 100名	計 209名	計 100名

平成18年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者		平均年齢
		人 数	小 計	人 数	小 計	
第1学年	1 組	50	100	46	95	63.7
	2 組	50		49		
第2学年	1 組	48	96	47	94	65.3
	2 組	48		47		
第3学年	福 祉	23	91	21	86	65.3
	歴 史	23		22		
	情 報	20		20		
	元 気	25		23		
第4学年	福 祉	15	84	15	81	66.0
	歴 史	25		24		
	情 報	19		19		
	元 気	25		23		
計			371		356	65

4 . 佐倉市民カレッジ運営委員会

カレッジには、佐倉市民カレッジ運営委員会を設置している。委員会は佐倉市公民館運営審議会委員、佐倉市民カレッジ卒業生、識見を有する人等によって構成している。

また、運営委員会はカレッジの運営や学習内容の方針、学生の進級などについて審議する。

・佐倉市民カレッジ運営委員会委員

	役 職	人数	氏 名
1	佐倉市教育委員会教育次長	1	新谷 俊文
2	佐倉市公民館運営審議会委員	2	高石 惣一郎 中村 克巳
3	佐倉市民カレッジ卒業生代表	3	西谷 和明 粟飯原 敬一 山田 滋
4	識見を有する人	4	松本 惇逸 越沢 七子 安蒜 嘉榮 内田 正恵

平成18年4月1日現在

5 . 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、仲間づくり等の広い分野を学ぶ。

また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域にであう中で、新たな生きがいを見つけることが学習のねらいとなっている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約140単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの

実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、生きがいについての学習がある。「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合い相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。2年の、「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

「あったか福祉コース」

「あったか福祉コース」では、現代的課題となっている介護を通して福祉活動を考えていく時間とし、3年生では一步専門的な理論・技術を習得し、制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習するために、3級ヘルパー養成プログラムを活用した学習をした。介護制度を理解することにより、利用者としての制度活用を図り、その結果サービスの質の向上に寄与する。

4年生では「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び・経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え・学んでいくことにつながり、カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習に取り組んだ。

また、学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

「ふるさと歴史コース」

「ふるさと歴史コース」では、郷土佐倉の身近な偉人・先覚者や、歴史的町並み、またその時代にいたる変遷、背景について学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。

その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策などの指導や学習補助をボランティアで行っている。

「さわやか情報コース」

「さわやか情報コース」では、デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用

して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「公民館だより」の作成、ホームページの作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、ビデオ・デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学习も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296を見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

「ゆっくり元気コース」

「ゆっくり元気コース」では、自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、今までの主体的な学習の過程や成果を実践活動を通して、健康の維持と地域活動への導入を図る。具体的には、NPO、協会での実践活動を通して地域での活動を学ぶ。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学んだ事を伝え合う「学び合い学習」を今年度より行った。また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他施設と連携を取りながら学習を展開する。特別養護老人ホーム、広域高速ネット296、武家屋敷、などと連携して学習を進める。また、これらを含めた平成17年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

1年 ウォークラリー

6月13日、仲間を知り、地域を知る学習として佐倉城址公園を中心とするコースにおいて実施した。途中、設問を解くことをとおして、身近な地域の施設・史跡についても学んだ。

1年 市内めぐり

6月28日、7月4日にクラス別にそれぞれ実施した。野鳥の森で印旛沼の歴史、野草について学び、酒々井リサイクル文化センターで佐倉市のごみ事情や大型ごみからのリサイクルについて学んだ。また、川村記念美術館では、豊かな自然環境に恵まれた美術館周辺の散策コースを歩き充実した一日となった。

専攻課程各コースの校外学習

3学年	6月15日	元気	ウォークラリーとニュースポーツ
	6月22日	歴史	佐倉の史跡散策
	7月6日	元気	体力テスト（千葉県スポーツ科学センター）
	9月28日	福祉	国際福祉機器展見学

	9月28日	情報	施設見学(日本科学未来館)
	9月28日	歴史	大佐倉の史跡散策
	10月12日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	11月2日	元気	自分たちでルートを見つけみんなで歩く
	11月9日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	11月9日	歴史	白井の史跡散策と自然観察
	11月30日	歴史	志津の史跡散策
	2月1日	福祉	特別養護老人ホーム「白翠園」見学
4学年	6月14日	歴史	歴史コース卒業生から学ぶ(佐倉地区史跡散策)
	9月13日	情報	公民館周辺の撮影
	9月20日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	10月4日	元気	体力テスト(千葉県スポーツ科学センター)
	10月11日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ
	10月25日	歴史	佐倉の歴史を伝える(史跡案内)

7. 平成18年度の主な行事

(1) 始業式・入学式

5月20日、始業式に引き続き第15回入学式が行われた。競争率2倍以上の狭き門を通過した100人の新生が晴れの日を迎えた。

佐倉市民カレッジ総長の渡貫博孝市長は「カレッジ生活を通してたくさんの仲間を作って、新たな学びと生きがいを出して、佐倉の地にしっかりと足をつけて、自立した生活を送ってください。」と激励した。続いて、在校生を代表して第4学年さわやか情報コース在籍の桂川さんから歓迎の言葉があり、これを受けて新生の和田紀男さんが新生100名を代表して入学の言葉を述べた。

(2) 第11回スポーツフェスティバル

第11回スポーツフェスティバルは、市民体育館を会場に10月6日(金)に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施した。

種目は、ボール送り、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、相手探し、玉入れ等があり、実行委員会を中心に手作り運動会となった。

(3) 文化祭

11月14日から11月19日にわたり、カレッジ生による文化祭を中央公民館大ホールを主な会場として実施した。今年度より卒業生にも研究活動発表や舞台発表にも参加してもらい、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

なお、コース・クラスの有志による喫茶コーナーやおむすび、とん汁、おでん等の出店が設けられ、会場の和やかな雰囲気づくりに貢献した。

また、研究活動発表では卒業生2名と4名のカレッジ生が学習の成果を発表し、会場は人でいっぱいになった。

最終日には舞台発表の部を開き、練習の成果を発表し、たのしい有意義なひとときを過ごした。

(4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動のための具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、

市政の学習をもとに自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ（課題部門別）を形成し、各部門別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成19年2月9日に市長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、各部門の代表者により発表した。なお、発表に際して多様な機器を活用するなど創意工夫が見られた。

その発表項目は、次のとおりであった。

第一発表	「桜・花の植栽」と「樹木板の取り付け」活動	2年1組	環境美化グループ
第二発表	里山の自然環境を・・・	2年1組	環境保全グループ
第三発表	「健康できれいなまちづくり」	2年1組	健康グループ
第四発表	伝統行事（佐倉の秋祭り・横町）への協働参加	2年2組	観光グループ
第五発表	居住区域における死角に関する調査報告	2年2組	防犯グループ
第六発表	ごみの今を考える	2年2組	環境グループ

（5）修了式・卒業式

平成19年2月17日に平成18年度修了式、続いて第14回卒業式を行った。

4年間216単位432時間にわたる授業に対し皆勤者9名を含む81名が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

渡貫総長は「カレッジで共に学んだ仲間と力を合わせ地域社会に参加し、日々充実し活躍して下さい」との言葉を述べられた。

卒業生を代表して福祉コース木原 亨さんが卒業の決意を述べ、通い続けた学舎を巣立った。

8 . 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的にサークルを結成し、学習日以外にも積極的に活動している。これらのサークルに対し、公民館では活動の場を提供している。

日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動や地域社会へ貢献していくための活動などそれぞれに様々な活動を行っている。中でも、園芸サークルは、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化活動をボランティアで行っており、四季折々の花壇や玄関スロープの花々が来館者の目を楽しませている。

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの 視点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.23 (火)	学ぶことの 意義	市民カレッジの概要 公民館で学ぶもの	社会教育指導員 中央公民館長 内田 儀久	ホームルーム	自己紹介 役員選出	社会教育指導員
3	5.30 (火)	印旛沼の歴史 (1)	地質時代の印旛沼 印旛沼の一生	NPO水環境研究所 代表 白鳥孝治	佐倉市の教育	地域で育てる 青少年教育	生涯学習課
4	6.6 (火)	自然と環境 (1)	地球環境問題	環境学習 アドバイザー	佐倉市の概要	各地区の成り立ち	文化課
5	6.13 (火)	健康づくり (1)	ウォークラリー - 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く -				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
6	6.20 (火)	健康づくり (2)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄	地域活動(1)	園芸と緑化活動	園芸サークル 八板義教
7	6.27 (火)	話し合い学習	2組 地域活動の事例発表と話し合い学習 助言者 越沢七子				
	6.28 (水)	自然と環境 (2)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 講師 松平喜美代		午前9時出発	午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館 まわし宿百観音	
8	7.4 (火)	自然と環境 (2)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 講師 松平喜美代		午前9時出発	午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館 まわし宿百観音	
		話し合い学習	1組 地域活動の事例発表と話し合い学習 助言者 越沢七子				
9	7.11 (火)	佐倉の文化財	佐倉市の指定文化財	臼井公民館 主査 穴戸 信	ホームルーム	「私の生きがい」 発表に向けて	社会教育指導員
10	7.18 (火)	自然と環境 (3)	佐倉市の環境と ISO	環境政策課	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
11	9.5 (火)	個人発表	私の生きがい				社会教育指導員
12	9.12 (火)	健康づくり (3)	楽しみながらできる 健康づくりと カレッジ体操	順天堂大学 名 誉教授 武井正子	高齢社会	高齢社会を どう生きるか	川村学園女子大学 教授 齋藤哲椰
13	9.19 (火)	自然と環境 (4)	印旛沼の自然と環境	佐倉印旛沼 ネットワークの会	生活と福祉	これからの福祉	特別養護老人ホ ーム佐倉白翠園 園長 竹内 淳
14	9.26 (火)	病理と予防 (1)	健康の備え	医学博士 長谷川栄一	世代間交流 (1)	小学生との交流に 向けて	社会教育指導員
15	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員
16	10.10 (火)	生涯学習の 時代	生涯学習社会を すこやかに生きる	アピスタ所長 渥美省一	地域活動(2)	谷津環境の保全活動	佐倉里山クラブ
17	10.17 (火)	自然と環境 (5)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 水質研究員 本橋敬之助	日本の歴史	小さな歴史から 大きな歴史を読む	国立歴史民俗博 物館名誉教授 塚本 学
18	10.24 (火)	自然と環境 (6)	房総の海 黒潮と親潮の合流地	元県立中央博物館 望月賢二	世代間交流 (2)	小学生との交流に 向けて	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時			
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師	
19	10.31 (火)	自然と環境 (7)	今、私たちでできる 環境保全	環境学習 アドバイザー	佐倉の歴史 (1)	幕末維新期の 房総と駿河・伊豆	歴史民俗博物館 助教授 樋口 雄彦	
20	11.7 (火)	ホームルーム	カレッジ文化祭 に向けて	社会教育指導員	佐倉の歴史 (2)	日清・日露戦争と 佐倉連隊	元葉園台高校校長 長谷川祐次	
21	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】					社会教育指導員 公民館職員
22	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】					社会教育指導員 公民館職員
23	11.21 (火)	地域活動 (3)	NPOって何だろう	NPO佐倉子ども SPOネット 宮下桂治	共生社会 (1)	これからの パートナーシップ	人権推進課	
24	11.28 (火)	芸術と文化 (1)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(1) - 新収蔵作品展鑑賞 -	美術館学芸員	共生社会 (2)	差別を考える	生涯学習課	
25	12.5 (火)	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて	社会教育指導員	健康づくり (4)	リズム体操	スポーツ プログラマー 中村俊子	
26	12.12 (火)	国際理解 (1)	シンポジウム - 心が通う国際交流 -	国際交流基金	1・2年合同 公開講演会 (1)	今年の国際情勢	敬愛大学学長 小田英郎	
27	12.19 (火)	世代間交流 (4)	小学生との交流	社会教育指導員		*		
28	H19年 1.9 (火)	芸術と文化 (2)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(2) - 新春佐倉美術展鑑賞 -	美術館学芸員	1・2年合同 公開講演会 (2)	講演	国立歴史民俗博物館 館長 平川 南	
29	1.16 (火)	まちづくり (1)	まちづくりに学ぶ	市民カレッジ 3年生	まちづくり (2)	まちづくりに学ぶ	市民カレッジ 3年生	
30	1.23 (火)	世代間交流 (5)	小学生との交流を 終えて	社会教育指導員	暮らしと税	やさしい税の知識 確定申告について	成田税務署 国税専門官	
31	1.30 (火)	日本の文学	短歌に親しむ 香取秀真とアヲヲ派の 歌人たち	歌人 秋葉四郎	地域活動 (4)	地域活動の実践	佐倉生涯いきいき健 康をつくる会 (SSK)	
32	2.6 (火)	国際理解 (2)	中国のことわざ	成東高校教諭 山本郁夫	交通の知識	高齢者の交通安全	佐倉警察署	
33	2.9 (金)	印旛沼の歴史 (2)	印旛沼と人々の生活 江戸時代の干拓事業	成田高校教諭 鍋木行廣	1・2年合同 私たちの まちづくり	まちづくり実践報告 を聞く	佐倉市長 渡貫博孝	
34	2.13 (火)	防災の知識	阪神大震災と 千葉県の地質環境	茨城大学教授広域水 圏環境科学教育セン ター 楡井久	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員	
35	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*		

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.26 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	中央公民館長 内田 儀久
3	6.2 (金)	印旛沼の自然 (1)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	近世の佐倉	佐倉城とその城主	文化課
4	6.9 (金)	千葉県の歴史 (1)	千葉県の成り立ち 明治・大正の変遷	千葉敬愛短期大学 講師 樋口誠太郎	生活と福祉 (1)	社会生活と ボランティア活動	千葉県ボランティ ア連絡協議会運営 委員 関内直枝
5	6.16 (金)	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (3)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
6	6.23 (金)	健康づくり (1)	レクスポーツ 〔実技〕	千葉敬愛短期大学 助教授 春日忠博 助教授 竹内暢子	病理と予防 (1)	高齢期の心理	放送大学助教授 星 薫
7	6.30 (金)	市政を学ぶ (1)	市民公益活動の推進	市民活動推進課	古代の佐倉 (1)	旧石器時代・縄文時代 印旛沼周辺の人々	市川考古博物館 館長 堀越正行
8	7.7 (金)	市政を学ぶ (2)	基本計画と財政	企画政策部	古代の佐倉 (2)	弥生・奈良・平安時代 印旛沼周辺の人々	明治大学図書館 事務長 熊野正也
9	7.14 (金)	市政を学ぶ (3)	環境と環境保全	経済環境部	市政を学ぶ (4)	福祉と健康	福祉部
10	7.21 (金)	市政を学ぶ (5)	教育施策「佐倉学」	生涯学習課	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
11	9.1 (金)	中世の佐倉	戦国時代の武将たち 千葉氏・白井氏を 巡って	郷土史家 高橋三千男	病理と予防 (3)	高齢者の かかりやすい病気	健康増進課
12	9.8 (金)	ホームルーム	スポーツフェスティバ ルに向けて	社会教育指導員	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
13	9.15 (金)	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子	日本の文学 (1)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 鳥海宗一郎
14	9.22 (金)	印旛沼周辺の 文化(1)	印旛沼周辺の民俗	成田山霊光館 小倉 博	地域活動 (1)	ボランティア活動 実践者の発表	ボランティア活動 実践者
15	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員
16	10.13 (金)	病理と予防 (2)	高齢期の歯と健康	歯科医師 鳩貝尚志	日本の歴史 (1)	常総地方と馬	国立歴史民俗 博物館名誉教授 塚本 学
17	10.20 (金)	千葉県の歴史 (2)	郷土が育んだ人々	元千葉県史編さん 室長 川戸 彰	日本の歴史 (2)	江戸の文化 江戸の御開帳	佐倉市史編さん 委員 比留間 尚
18	10.27 (金)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	11.10 (金)	地域活動 (2)	TMOに学ぶ	佐倉商工会議所	共生社会 (1)	男女共同参画社会を めざして	人権推進課
20	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
21	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
22	11.24 (金)	印旛沼の自然 (2)	印旛沼周辺の水辺里山環 境	県立中央博物館 倉西良一	共生社会 (2)	差別をしない させないまちづくり	敬愛学園 小林義人
23	12.1 (金)	家庭と法律	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 高須 順一	印旛沼周辺の 文化(2)	紀行文・物語に見る 地域文化	成田高校教諭 籾木行廣
24	12.8 (金)	情報化社会	これからの 情報化社会	敬愛大学助教授 高橋和子	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	12.12 (火)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	1・2年合同 公開講演会 (1)	今年の国際情勢	敬愛大学学長 小田英郎
26	12.15 (金)	日本の文学 (2)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	地球環境	星空で知る環境	放送大学講師
27	H19年 1.9 (火)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	1・2年合同 公開講演会 (2)	講演	国立歴史民俗博物館 館長 平川 南
28	1.12 (金)	生活と福祉 (2)	消費者トラブルに 巻き込まれない ために	消費生活専門 相談員 斎藤喜代美	まちづくり (9)	発表に向けて	社会教育指導員
29	1.19 (金)	生活と福祉 (3)	生活と老人ホーム	風の村	国際理解	隣人としての 在日外国人	英語指導助手
30	1.26 (金)	まちづくり (10)	発表に向けて	社会教育指導員	まちづくり (11)	発表に向けて	社会教育指導員
31	2.2 (金)	政治経済 (1)	国際紛争と外交政策	放送大学講師	自然と環境	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	環境学習 アドバイザー
32	2.9 (金)	ホームルーム	発表準備・打ち合わせ	社会教育指導員	1・2年合同 私たちのまちづ くり	まちづくり実践報告会	佐倉市長 渡貫博孝
33	2.16 (金)	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員	政治経済 (2)	日本経済論	敬愛大学 教授 吹田尚一
34	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.25 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	福祉サービス	福祉サービス提供の 基本視点	特別養護老人ホーム佐倉白翠園園長 竹内 淳
3	6.1 (木)	話し合い学習	福祉コース概要	社会教育指導員	障害福祉	障害者(児)福祉制度の 概要とサービス内容	視覚障害者総合 支援センターちば 所長 高梨憲司
4	6.15 (木)	老人保健福祉	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課	訪問介護	訪問介護サービスの 社会的役割、職業倫理	佐倉白翠園
5	7.6 (木)	疾病・障害	サービス利用者と家族の 心身と生活像の理解 援助のありかた	佐倉白翠園 婦長 竹内敏子	介護技術	介護目的、 機能と基本原則、方法	介護保険課
6	7.20 (木)	食の自立	高齢期の食生活・食の自立(調理実習)				料理研究家 六崎美知代
7	9.7 (木)	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 助教授 吉村真理子	家事援助(1)	家事援助の目的、機能 と基本原則、方法(1)	高齢者福祉課 足立澄江
8	9.21 (木)	施設見学	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	演習(1)	基本的な 介護技術を学ぶ(1)	佐倉白翠園
9	9.28 (木)	施設見学	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
10	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
11	10.19 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘル スアカデミーカウン セリング部長 淵上規后子	演習(2)	基本的な 介護技術を学ぶ(2)	佐倉白翠園
12	11.2 (木)	子育て支援 (2)	家庭教育と地域の役割	佐倉市学校教育 相談員 酒井孝子	演習(3)	基本的な 介護技術を学ぶ(3)	佐倉白翠園

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】			社会教育指導員 公民館職員	
14	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.30 (木)	子育て支援 (3)	地域で子育て、 みんなで子育て	佐倉保育園	演習(4)	利用者への共感的理解 と基本的態度の形成	グループ ほっ!と カフェ
16	12.7 (木)	家事援助(2)	家事援助の目的、機能 と基本原則、方法(2)	高齢者福祉課 足立澄江	演習(5)	利用者への共感的理解 と基本的態度の形成	グループ ほっ!と カフェ
17	H19年 1.18 (木)	歯科・口腔	噛む喜びと 食べることの意義 8020運動の推進 「噛む・味わう・飲み込む」	鳩貝歯科医院 院長 鳩貝尚志	生活と福祉	高齢者にやさしい 住まい	建築士 小川真砂子
18	2.1 (木)	施設見学	【特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学】 集合 午前9時50分 現地集合			特別養護老人ホーム 佐倉白翠園園長 竹内 淳	
19	2.15 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 人生を二度生きる	千葉県郷土史研究 連絡協議会会長 川村 優
20	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長			

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.25 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ホームルーム	歴史コース概要	社会教育指導員 歴史コース卒業生 公民館職員
3	6.8 (木)	郷土の先覚者 (1)	佐倉ゆかりの人々(1) - 堀田正睦 -	中央公民館長 内田 儀久	郷土の先覚者 (2)	佐倉ゆかりの人々 (2) - 土井利勝 -	歴史コース卒業生 山倉 洋和
4	6.22 (木)	史跡散策 (1)	佐倉の史跡散策 集合 9時30分 中央公民館 散策 午後3時城址公園解散予定				歴史コース卒業生 (歴博セミナーの会)
5	7.6 (木)	郷土の先覚者 (3)	佐倉ゆかりの人々(3) - 佐藤泰然 - 佐倉順天堂で学習	文化課 川嶋 英彦	郷土の先覚者 (4)	佐倉ゆかりの人々 (4) - 佐倉藩士 -	行政管理課 市史編さん担当 土佐 博文
6	9.14 (木)	郷土の先覚者 (5)	佐倉ゆかりの人々 (5) - 明治の人々 -	文化課 日暮 冬樹	郷土の歴史 (1)	紀行文に見る江戸時代 の佐倉	成田高校教諭 鏑木行廣
7	9.28 (木)	史跡散策 (2)	大佐倉の史跡散策 集合 9時30分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				文化課 歴史コース卒業生 (歴博セミナーの会)
8	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
9	10.12 (木)	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合 午前9時45分 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				成田山霊光館 小倉 博
10	10.19 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘル スアカデミーカウ ンセリング部長 淵上規后子	郷土の歴史 (2)	古代の印旛郡	印旛都市 文化財センター 小倉和重
11	11.9 (木)	史跡散策 (3)	白井の史跡散策 集合 9時30分 京成白井駅北口下 散策 午後3時 白井駅解散予定				歴史コース卒業生 (歴博セミナーの会)
12	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
14	11.30 (木)	史跡散策 (4)	集合 9時30分	志津の史跡散策 ユウカリが丘駅北口下	散策	午後3時 解散予定	歴史コース卒業生 中田悌之輔
15	12.14 (木)	郷土の歴史 (3)	明治から戦前の佐倉	市史編さん委員 高橋三千男	郷土の歴史 (4)	本佐倉城から 佐倉城へ 考古学から見た 佐倉の中世・近世	国立歴史民俗博 物館教授 小野正敏
16	H19年 1.11 (木)	郷土の歴史 (5)	佐倉道・成田道 江戸の文化を 伝えた道	国立歴史民俗博 物館助教授 山本光正	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
17	1.25 (木)	郷土の歴史 (6)	都市の人々の生活 武家屋敷を中心に	国立歴史民俗博 物館歴史研究部 岩淵令治	郷土の歴史 (7)	戦後の佐倉のあゆみ	市史編さん委員 高橋三千男
18	2.8 (木)	郷土の歴史 (8)	上杉謙信と臼井城合戦	文化課 日暮 冬樹	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	2.15 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 人生を二度生きる	千葉県郷土史研究 連絡協議会会長 川村 優
20	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.25 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	情報化時代の 学習(1)	オリエンテーション	社会教育指導員 公民館職員
3	6.8 (木)	情報伝達の 技術(1)	ワードを 使おう	パソコンスタッフ 館林 弘	情報伝達の 技術(2)	ワードを 使おう	パソコンスタッフ 館林 弘
4	6.22 (木)	地域情報紙 づくり	情報紙の記事と レイアウト	まちづくり メディア コーディネーター 中村 正明	課題学習 (1)	公民館だよりを作ろう 編集会議	社会教育指導員
5	7.13 (木)	情報伝達の 技術(3)	ワードを 使おう	パソコンスタッフ 館林 弘	情報伝達の 技術(4)	ワードを 使おう	パソコンスタッフ 館林 弘
6	9.14 (木)	情報伝達の 技術(5)	ワードを 使おう	パソコンスタッフ 館林 弘	課題学習 (2)	公民館だよりを作ろう 編集会議	社会教育指導員
7	9.28 (木)	施設見学	【最先端の科学技術に触れてみよう】 会場 日本科学未来館 ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車、徒歩5分 集合 午前10時30分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
8	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
9	10.12 (木)	課題学習 (3)	公民館だよりを作ろう 編集会議	社会教育指導員	課題学習 (4)	公民館だよりを作ろう	パソコンスタッフ 館林 弘
10	10.19 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘル スアカデミーカウ ンセリング部長 淵上規后子	情報化時代の 学習(2)	本を書くための 情報収集	近代文学研究家 高比良直美
11	11.9 (木)	施設見学	広域高速296スタジオ見学 講話「地域の情報発信 - C A T Vの可能性 -」 スタジオ見学 - 情報が発信されるまで - 集合 9時45分 現地				広域高速296
12	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
14	11.30 (木)	情報化時代 の学習(3)	情報発信 (異文化間とのコミュニ ケーション)	放送大学講師	課題学習 (5)	公民館だよりを作ろう	パソコンスタッフ 館林 弘
15	12.14 (木)	課題学習 (6)	公民館だよりを作ろう	パソコンスタッフ 館林 弘	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
16	H19年 1.11 (木)	課題学習 (7)	公民館だよりを作ろう	社会教育指導員	課題学習 (8)	公民館だよりを作ろう	社会教育指導員
17	1.25 (木)	情報伝達の 技術(6)	エクセルを使おう	パソコンスタッフ 館林 弘	情報伝達の 技術(7)	エクセルを使おう	パソコンスタッフ 館林 弘
18	2.8 (木)	情報伝達の 技術(8)	エクセルを使おう	パソコンスタッフ 館林 弘	情報伝達の 技術(9)	エクセルを使おう	パソコンスタッフ 館林 弘
19	2.15 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 人生を二度生きる	千葉県郷土史研究 連絡協議会会長 川村 優
20	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.25 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ホームルーム	オリエンテーション	社会教育指導員 公民館職員
3	6.1 (木)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	健康管理士 渡辺修一	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう	社会教育指導員 公民館職員
4	6.15 (木)	健康づくり (1)	ウォークラリーとニュースポーツ - 初夏の風を受け、森林浴 -				社会教育指導員 公民館職員
5	7.6 (木)	健康づくり (2)	知っていますか？自分の体力 - 身近にできるトレーニング - 〔千葉県スポーツ科学総合センターで学習〕				社会教育指導員 公民館職員
6	7.20 (木)	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員	生活と健康 (2)	救急法を学ぶ	佐倉消防署
7	9.7 (木)	生活と健康 (3)	ヘルスプロモーションの 基本	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
8	9.14 (木)	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	順天堂大学助教授 鈴木勝彦	健康づくり (3)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄
9	10.5 (木)	スポーツと健康 (1)	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 前学部長 北森義明	健康づくり (4)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 中川義三郎
10	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
11	10.19 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘル スアカデミーカウ ンセリング部長 淵上規后子	地域活動 (1)	地域総合型 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナース
12	11.2 (木)	課題学習 (2)	自分たちでルート(経路)を見つけみんなで歩く - ウォークラリーコースを検証する -				社会教育指導員 公民館職員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】			社会教育指導員 公民館職員	
14	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.30 (木)	課題学習 (3)	～運動の創造～ レクリエーション誌 から学ぶ	社会教育指導員 公民館職員	健康づくり (5)	ニュースポーツに チャレンジ	スポーツ振興課
16	12.7 (木)	病理と予防 (2)	健康づくりの基本	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (6)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
17	H19年 1.18 (木)	生活と健康 (4)	私が行っている 健康づくり 【話し合い】	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	健康運動指導士 荒谷美枝子
18	2.1 (木)	地域活動 (2)	実践活動へ向けて	NPOさくら 子どもSPOネット	健康づくり (8)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	スポーツ プログラマー 中村俊子
19	2.15 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 人生を二度生きる	千葉県郷土史研究 連絡協議会会長 川村 優
20	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.24 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
3	6.7 (水)	カレッジの 基礎を学ぶ	こころに触れる生かす カレッジ	東京メンタルケアミ カレッジ 部長 淵上規后子	傾聴への あゆみ(1)	聞くから聴くへ	東京メンタルケアミ カレッジ 部長 淵上規后子
4	6.21 (水)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて (家庭介護実習など)	社会教育指導員	自主企画講座	自主企画講座について (1)	社会教育指導員
5	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作 家 高比良直美	傾聴への あゆみ(2)	自分を知り他者を知る	東京メンタルケアミ カレッジ 部長 淵上規后子
6	7.19 (水)	自主企画講座	自主企画講座について (2)	社会教育指導員	福祉・元気 合同 生活と福祉	高齢者のための レクリエーション	特別養護老人ホーム 栄白翠園副園長 竹内修一
7	9.6 (水)	傾聴への あゆみ(3)	傾聴ボランティア をして	船橋市傾聴 ボランティア	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
8	9.20 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ - 卒業記念作品の制作 - 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
9	10.4 (水)	演習(1)	ロールプレイ(1)	グループ ほっ!と カフェ	演習(2)	ロールプレイ(2)	グループ ほっ!と カフェ
10	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
11	10.18 (水)	演習(3)	ロールプレイ(3)	グループ ほっ!と カフェ	演習(4)	ロールプレイ(4)	グループ ほっ!と カフェ
12	11.1 (水)	学び合い学習 (1)	情報コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

あったか福祉コース(2)

学習時間		午前10時~11時50分			午後1時10分~3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	学び合い学習 (3)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
16	11.29 (水)	演習(5)	ロールプレー(5)	グループ ほっ!と カフェ	傾聴まとめ	聴くこととは	グループ ほっ!と カフェ
17	12.6 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	H19年 1.10 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	市長
19	1.17 (水)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.7 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	元佐倉市社会福祉 協議会会長 松本惇逸	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
21	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.24 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	郷土の歴史 (1)	佐倉の建築物	元国立歴史民俗博物 館教授 濱島正士
3	6.14 (水)	郷土研究 (1)	歴史コース卒業生から学ぶ 〔佐倉地区史跡散策〕				歴史コース卒業生 (前年度卒業生)
4	6.28 (水)	郷土研究 (2)	佐原の町並み案内ボラン ティアから学ぶ	佐原郷土史家 吉田昌司	課題学習 (1)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に 向けて)	社会教育指導員
5	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員
6	7.12 (水)	課題学習 (2)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に 向けて)	社会教育指導員	郷土の歴史 (2)	中世後期の佐倉	四街道高校教諭 遠山成一
7	9.13 (水)	自然と歴史	森林と巨木から学ぶ	森林と巨木を訪ねる会	自然散策	森林と巨木を訪ねて 〔佐倉地区を散策〕	森林と巨木を訪ねる会
8	9.20 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ - 卒業記念作品の制作 - 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
9	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
10	10.11 (水)	町並み散策	佐原のまちづくりから学ぶ 集合 午前8時50分 JR成田駅改札口の中 コース 成田駅 佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定				佐原郷土史家 吉田昌司
11	10.25 (水)	課題学習 (3)	佐倉の歴史を伝える (学び合い学習に向けて)				社会教育指導員
12	11.1 (水)	学び合い学習 (1)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	学び合い学習 (3)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
16	12.13 (水)	日本の歴史	日本の民俗	国立歴史民俗博物館 教授 上野和男	郷土研究 (3)	歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗 博物館を見学〕	歴史コース卒業生 (歴博セミナーの会)
17	12.20 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	H19年 1.10 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	市長
19	1.24 (水)	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.7 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	元佐倉市社会福祉 協議会会長 松本惇逸	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
21	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり - WHOヘルスプロモーションの視 点から -	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.24 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
3	6.14 (水)	課題学習 (2)	デジカメ撮影会	パソコン インストラクター 小坂大輔	課題学習 (3)	画像処理	パソコン インストラクター 小坂大輔
4	6.28 (水)	課題学習 (4)	エクセルにチャレンジ	パソコンスタッフ 館林 弘	課題学習 (5)	エクセルにチャレンジ	パソコンスタッフ 館林 弘
5	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作 家 高比良直美	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員
6	7.12 (水)	課題学習 (6)	エクセルにチャレンジ	パソコンスタッフ 館林 弘	課題学習 (7)	エクセルにチャレンジ	パソコンスタッフ 館林 弘
7	9.13 (水)	ビデオニュース づくり(1)	公民館周辺の撮影 - 佐倉保育園 -	元ケーブルテレビ 296 放送部講師 町田博祐	ビデオニュース づくり(2)	ビデオ編集	元ケーブルテレビ 296 放送部講師 町田博祐
8	9.20 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ - 卒業記念作品の制作 - 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
9	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
10	10.11 (水)	情報化時代の 学習(1) 施設見学	【情報発信の現場を見てみよう】 会場 ていぱーく・読売新聞社 地下鉄「大手町駅」下車、C5出口すぐ 集合 午前10時30分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
11	10.25 (水)	課題学習 (8)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員	課題学習 (9)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
12	11.1 (水)	学び合い学習 (1)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	学び合い学習 (3)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
14	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
16	11.29 (水)	情報化時代の 学習(3)	世界の映画、 日本の映画	日本アカデミー賞 協会会員 伊東芳幸	情報化時代の学 習(4)	情報の伝え方放送局か らの情報発信	広域高速ネット296
17	12.13 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	H19年 1.10 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	市長
19	1.24 (水)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.7 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	元佐倉市社会福祉 協議会会長 松本惇逸	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
21	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.20 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 学習	講演 愛と夢と勇気を育む 健康なまちづくり -WHOヘルスプロモーションの 視点から-	順天堂大学ヘルスプロ モーション・ リサーチ・センター 島内憲夫
2	5.24 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.13 (火)	地域活動 (1)	実践活動	ウォークラリー - 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く -			社会教育指導員
4	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
5	7.12 (水)	健康づくり (1)	歩く楽しみ バードウォッチング 体験	日本野鳥の会 浅野俊雄	健康づくり (2)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康	NPOさくら 子どもSPOネット
6	7.19 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する (企画の話し合い)	社会教育指導員	福祉・元気合同 生活と福祉	高齢者のための レクリエーション	特別養護老人ホーム 栄白翠園副園長 竹内修一
7	9.6 (水)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員	地域活動 (2)	ミニテニス	市民カレッジ ミニテニス サークル
8	9.20 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ - 卒業記念作品の制作 - 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
9	10.4 (水)	健康づくり (3)	確認しよう?自分の体力 -身近にできるトレーニング - 〔千葉県スポーツ科学総合センターで学習〕				科学総合センター 指導員
10	10.6 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第11回スポーツフェスティバル				社会教育指導員 公民館職員
11	10.18 (水)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて	社会教育指導員
12	11.1 (水)	学び合い学習 (1)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員

平成18年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	学び合い学習 (3)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
14	11.14 (火)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (日)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭】				社会教育指導員 公民館職員
16	11.29 (水)	生活と健康 (1)	管理する健康から 楽しむ健康へ	前順天堂大学教授 宮下桂治	地域活動 (3)	ターゲットバード ゴルフ	ターゲットバード ゴルフ協会
17	12.6 (水)	自主企画講座	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	H19年 1.10 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義(1)	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	市長
19	1.17 (水)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	2.7 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	元佐倉市社会福祉 協議会会長 松本悖逸	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
21	2.17 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

5 . 広報・展示事業

広 報 事 業

公民館だより

- ね ら い 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- 発行回数 年 1 回
- 発行部数 1 , 5 0 0 部
- 配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- 内 容 佐倉市民カレッジ であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバル
まちづくり実践報告会、サークル活動 他
- 展 望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

「なかま」

- ね ら い 高齢者の手による、高齢者の啓蒙と情報提供及び紙面を通しての仲間づくりをめざす。
- 発 行 年 1 2 回（毎月 1 回）
- 発行部数 毎月 1 , 3 0 0 部 （年間 1 , 3 0 0 部 × 1 2 ヶ月 = 1 5 , 6 0 0 部）
- 配布方法 市内公民館・図書館・老人福祉センター・老幼の館・コミュニティセンター等に配布。
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
- 編集方法 佐倉市高齢者短期大学の卒業者、佐倉市民カレッジ卒業者や在席者等の高齢者のボランティア編集委員 2 4 名が編集会議を毎月 2 回開いている。
編集会議では、原稿の依頼・校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合っている。
また平成 1 7 年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業者がボランティアで版下作成を行っている。
- 内 容 A 4 版 4 ページの体裁で、1 面は市長及び編集委員の原稿、2・3 面は市内在住の高齢者の方から頂いた投稿文を掲載している。4 面は成人向けの中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせや、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。
今年度は 10 月号で創刊 30 周年を迎えた。記念して行った座談会の様子を 1 0 月号に掲載した

なお、平成18年度の1面から3面の題と投稿者は次のとおり。

「なかま」掲載記事

発行年月	号	主 内 容
平成18年 4月	354号	市民ハイキング考(編集委員 石崎幸助) 六人の孫娘たち(宮前 鈴木伶子) こどもの目線(田町 原桂子) 地球の砂漠化・温暖化(念頭に思ったこと)(ユーカリが丘 飯嶋隆哲)
5月	355号	稲荷台ピオトープ(編集委員 栗原欣一) 合掌とクロス(新臼井田 村田長保) ズッキーニを育てる(臼井田 鈴木文次郎) 印旛沼龍神伝説(並木町 松井弥彦) 私たちの交わり(西志津 子安三智子)
6月	356号	陸軍が戦艦に乗って(編集委員 長谷川忠雄) 一人暮らしの母(並木町 澤谷泰子) なまず(上座 鎌田正弘) 私の顔が母の顔?(江原台 小出洋子) 夢が広がる井野長割遺跡(井野 本西和雄)
7月	357号	耕さない田んぼ(編集委員 亀川勇) <small>あまてらすおおみかみ</small> 天照大神に逢った日(田町 岩壁則次) プラス思考(表町 佐藤寛) 市民カレッジ一年生終了の記(中志津 北村耕三)
8月	358号	臍の緒(編集委員 宮崎常子) フランネル物語(井野 清澤瞳子) 身辺雑記 桃山の斑 <small>まだらからうは</small> 唐津盃(中志津 富原敏光) 数字で遊んで(臼井 加瀬清子) 小さな生命を大切に(八幡台 嶋田孝弘)
9月	359号	ペット ロス(編集委員 田中郁三) グラウンドゴルフ(臼井 細野栄次) エジプトを旅して(上座 宮川久子) 焼酎について(ユーカリが丘 松村尚幸) 木曾のナカノリサン(千成 宮本定雄)
10月	360号	創刊30周年記念特集(『なかま』三十年のあゆみを座談会形式で振り返る) 木 <small>もく</small> 槿の咲く道(井野 清澤瞳子) 自然と遊ぶ愉しみ(宮前 西尾亮常) 世代交代(宮ノ台 吉見文之) 詩吟と私(弥勒町 菅波卓)
11月	361号	ふるさとの山 <small>あしたか</small> 愛鷹(編集委員 安田齊治) 驚破!新種(新臼井田 村田長保) ふるさと自慢(石川 齊藤雄) 郷土に根付いた西馬音内盆踊り(上志津 高橋佐久二)
12月	362号	郵便切手と半世紀(編集委員 島田昌彦) 銭湯(井野 高田孝) 「定期健康診断」を大切に(染井野 目黒俊彦) ミニトマト(弥勒町 高橋将) 佐倉市民ハイツのクラブホーム作り(白銀 菅勇二)
平成19年 1月	363号	新春によせて(佐倉市長 渡貫博孝) ふるさとのお正月(鎗木町 服部富士子) 雷電と佐倉の関わり(染井野 小林董) 週末は楽し(宮前 鈴木伶子) 市民カレッジ応援合戦のデユース始末記(中志津 北村耕三)
2月	364号	その時、あなたはどうしますか(編集委員 高橋克俊) ロボットあれこれ(表町 佐藤寛) 洋子ちゃん(臼井 加瀬清子) 市長とポアンカレ(新臼井田 村田長保) 秋の立山・黒部峡谷(六崎 青木久輝)
3月	365号	佐倉との出会い(編集委員 池田圭三) 城と呼んではいけない「お城」(宮前 赤川匡宏) おやじの郷土料理(ユーカリが丘 木村優治) ご趣味は読書ですか(上志津 吉野一志)

高齢者文集「あゆみ」

ねらい 高齢者の自由な意見や考えの発表の場であり、また、それをもとにして高齢者同士や異なった世代間の交流をはかる。

対象 市内在住・在勤で60歳以上の高齢者

発行 年1回 250部

配布方法 投稿者には1冊無料配布、それ以外は有償で頒布

編集方法 高齢者のボランティア編集委員20名で構成している編集会議を随時開催し、テーマの設定、原稿募集、編集、校正などを行う。

原稿募集 こうほう佐倉で広く募集。

内容 年度ごとにテーマを設定し、そのテーマについての意見・考えをまとめて投稿していただく。
あゆみをふりかえって

年度	号数	テ　　マ	投稿数	頁　数	表　　紙
昭和49	1	長寿大学生の文集	20	19	菖蒲と燕(イラスト)
50	2	長寿大学生の文集	14	19	東関東自動車道(イラスト)
51	3	生活記録集・長寿大学によせてなど	23	49	佐倉厚生園の庭にて
52	4	ボランティアを考える	29	58	ゲートボール
53	5	ふるさと佐倉	52	86	版画
54	6	80年代の夢	17	28	高齢者短期大学校、特別授業「一日議会」風景
55	7	若い頃の思い出	25	42	風景画
56	8	(特にテーマなし)	57	86	市役所屋上より、国立歴史民俗博物館をのぞむ
57	9	これからの夢	66	109	ユーカリが丘の「ボナ」
58	10	私達の佐倉	71	108	麻賀多神社
59	11	高齢化社会	60	75	印旛沼の水鳥の群れ
60	12	交流の輪	69	83	新装の国鉄佐倉駅
61	13	私の健康	71	97	佐倉朝日健康マラソン大会のスタートの様子
62	14	私の楽しみ	70	95	ダンスを楽しむ(ワープロ画)
63	15	旅	96	133	成田街道、ありし日の伊篠の松並木
平成元	16	出逢い	76	108	チューリップ広場
2	17	その時、あの時、私は	84	120	新装の鹿島橋
3	18	親の思い出	87	126	改築後の中央公民館
4	19	私の夢	63	83	鷹匠橋と彫刻(ワープロ画)
5	20	チャレンジすることの楽しみ	54	76	オランダ風車(ワープロ画)
6	21	私の戦後50年	79	100	佐倉市立美術館(ワープロ画)
7	22	忘れ得ぬ人	54	82	佐倉市立志津図書館
8	23	私が今、伝えたいこと	49	72	岩名運動公園陸上競技場
9	24	近ごろ、思うこと	47	65	佐倉市ヤングプラザ
10	25	二十一世紀に向けて	60	81	旧堀田邸
11	26	(6つのテーマから選択)	49	70	和田ふるさと館
12	27	愛・戦中戦後の思い出	78	118	ミレニアムセンター佐倉
13	28	ふるさと 大切にしたいもの	75	118	佐倉消防署
14	29	私の昭和 私の楽しみ	76	133	佐倉・国際印旛沼花火大会
15	30	佐倉に住んで 思い出	64	105	あゆみ1号から29号までの表紙
16	31	子や孫に伝える思い 旅の思い出	45	85	あさがお
17	32	昭和の時代 豊かな老いとは	42	72	鷺

6 . 団体育成事業

定期利用グループ懇談会

開設趣旨 中央公民館を利用しているグループ・サークルに対し、公民館の利用方法について説明し、利用にあたっての協力を求め、各グループがお互いに快適な学習活動ができるような意識づけをする。また、各グループの情報交換や公民館への要望を聞く場とし、同時にグループ・サークル間の懇談を図る。

対 象 中央公民館利用グループ・サークル 139団体 193名

開催期日 平成18年4月20日(木) 午前10時～正午まで

内 容 1) グループ活動への期待
2) 平成18年度中央公民館利用の手引き
3) 公民館への要望・質問
4) 事務連絡

調理室利用グループによる調理室点検

開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。

対 象 調理室を定期利用しているグループ

全11団体 20名

開催期日 平成18年 6月12日(月) 午前10時～11時30分

平成18年12月11日(月) 午前10時～11時30分

内 容 1) 調理室の清掃
2) 公民館備品の整理・点検
3) グループ備品の整理
4) グループ間の懇談
5) 公民館への要望

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

佐倉地区子連は、佐倉地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。会の運営は、役員が中心となっており、総会・役員会・各事業などを実施している。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会の申込みの受付、市教育委員会との連絡、備品の貸与等を行っている。今後とも地域における子ども会の重要性は益々大きくなっていくと思われるので、これからも活動を支援していきたい。

単位子ども会数及び会員数

単位子ども会	8 団体
会 員 数	4 1 7 名 (昨年より 4 名増加)
幼 児	1 7 名 (昨年より 1 6 名減少)
小学生	3 2 8 名 (昨年より 1 3 名増加)
育成者	7 2 名 (昨年より 7 名増加)

主な事業

実施月日	事業	内 容	会 場
4月17日(月)	平成18年度総会	17年度事業報告 17年度決算報告 18年度事業計画 18年度予算案	中央公民館
	安全会説明会	生涯学習課より	
5月11日(木)	役員会	育成者研修会について	中央公民館
6月 8日(木)	育成者ゲーム講習会	市子連事業に参加	青少年センター
6月30日(金)	育成者(役員)研修会	施設見学	東京都水の科学館他
7月14日(月)	育成者野外料理講習会	市子連事業に参加	青少年センター
10月10日(火)	役員会	クリスマスコンサートについて	中央公民館
10月21日(土)	中央交流フェスティバル	市子連事業に参加	七井戸公園
12月 3日(日)	クリスマスコンサート	ブラバンド演奏会	中央公民館
19年 3月19日(月)	年度末役員懇談会	18年度の活動報告及び 19年度に向けて	中央公民館